

令和2年度 事業報告

I. 事業報告書

1 概況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、人々の経済活動のみならず社会生活に深刻な影響を及ぼしました。年度当初の4月には緊急事態宣言が発出され、未知のウイルスに怯えながら全国民が不自由な生活を強いられました。その後、新型コロナウイルスに対する防御方法も一定程度共有され、不自由ながらも経済活動や社会生活の維持に努めてきたところです。しかし、5月に緊急事態宣言が解除されるとともに、人々の行動範囲が広がり、新型コロナの感染者数が年末に向けて急拡大しました。その結果、令和3年1月には再び緊急事態宣言が発出されることになり、現在に至るまでその影響が続いています。

このような状況下にあつて、当センターは高齢者の安全を最優先とした対応に直面し、例年の事業活動の見直しを行いました。まず就業については、受注の際に発注者と安全について十分な確認を行い、新型コロナ対策がとられている環境下での受注に限りました。また、会員に仕事を提供する際にも、会員の意向を十分に聴き取り、不安があれば仕事の辞退も勧めるなどの対応を図りました。また、継続的に就業を続けている現場では、安全対策や就業会員数の調整、接客時の諸注意などをまとめ、それぞれの就業現場に応じた対応を図ったところです。その結果、就業に伴って会員が患ったという報告はありませんでした。しかし、残念ながら、年末年始にかけて友人との会食等が原因で発熱等が現れ、PCR検査の結果、陽性が判明した会員が複数名おりましたが、幸いにも重篤化することはありませんでした。

就業以外の活動では、仕事別グループが実施している定例的なリーダー会議や各種研修は、いわゆる3密を避ける観点から休止としました。また、各組が主体となって行っているさまざまなボランティア活動のほか、「シルバーまんま」や用賀ワークプラザでの「あったかサロン」も休止となりました。加えて、シルバーの内部活動組織である4つの部会や委員会も休止とし、理事会のみを開催するという極めて制約された条件下での運営となったところです。

このような厳しい環境下にあつて当センターの事業実績は、令和元年度に比べ、契約金額の総計は12億1266万円となり、率にして11.1%の減となりました。1回目の緊急事態宣言が発出された直後の4月から9月にかけては、対前年比で約13%から20%減という状況が続いていましたが、それ以降は概ね11%減という状況が続き、結果として上記のような実績となりました。

また、会員登録についても入会説明会を開催することができず、それに替えて、予約制の個別面談やオンラインでの入会説明を実施するなどの工夫をしながら、会員確保に向けた対応を図ったところです。しかしながら、昨年度まで実施していた出張説明会などが開催できなかったことは、これまで続けてきた会員増がいったん停止してしまうという残念な結果をもたらしました。

2 事業実施状況

(1) 就業の状況と就業開拓

令和2年度の当センターの契約金額全体の公民比率は61：39となっており、近年、公共部門は堅調に推移しているものの、民間部門はその構成比率が年々減少しています。そのため、当センターは、役員、会員及び事務局職員が就業先の維持・拡大及び新規開拓に向けて、引き続き以下のように取り組みました。

① 発注者訪問・就業開拓

毎年、全理事による発注者訪問を実施し、発注量や職種の維持・拡大の要請、就業会員の評価や要望事項等の聞き取りを行い、改善を図ってきました。しかし、令和2年度はコロナ感染予防対策のため未実施となりました。

② 公共事業及び指定管理者事業

地方自治法に基づく「政策目的随意契約」の対象団体である当センターは、世田谷区と連携して政策目的に適った受注確保に努めています。

区立自転車等駐車場やレンタサイクルポートは、平成23年度から5年間の第3次指定管理者の指定に引き続き、平成28年度から5年間の第4次指定管理者となり、自転車等駐車54か所、レンタサイクルポート7か所の合計61か所を管理し、延384人の会員が就業しました。契約金額は、当センター全体の41.7%を占める5億640万円になりました。

③ 民間事業と家事援助サービス

近年の傾向として、民間事業については受注件数は減少し、一部の企業などを除くと、相対的に小規模かつ不定期な受注が多い状況となっています。しかし、令和2年度は新型コロナウイルスの影響が大きく大幅な受注減となりました。

特に、家事援助サービスでは、会員コーディネーターが会員の円滑な就業に努めましたが、コロナ感染予防対策に伴い受注が大幅に減となりました。令和2年度は215人の会員により年間2,939件の契約実績で、前年度比1,242件の減となりました。また、65歳以上の高齢者世帯向けの「あったかサポート」事業では、家具等の移動、買い物、電球の取替えなど、令和2年度実績は52件で、前年度比7件の減となりました。

なお、平成27年1月より実施した「支えあいサービス」の令和2年度契約実績は497件となり、前年度に比べ52件の減となりました。引き続き世田谷区や世田谷区社会福祉協議会との連携強化を図ってまいります。

④ 独自事業

会員の優れた技術や経験を活かした当センターの独自事業は、児童生徒の学習教室、情報化に対応したパソコン教室、趣味活動のカルチャー教室、陶芸教室を展開していますが、令和2年度はコロナ対策に伴い未実施となりました。

⑤ 仕事別グループ

当センターでは、事業運営の効率化や会員相互の連帯感等の強化をめざし、仕事別グループを認定して、グループによる自己完結的な仕事の推進を図っています。植木剪定、除草、襖・障子張り、家事援助などのグループが、受注受付やグループ内の連絡調整などを積極的に図り、就業実績や成果の向上につなげています。また、自転車等駐車場・レンタサイクルグループについては、指定管理者制度に基づき、世田谷区との連絡・調整、契約・精算の他、自転車管理センターが主体となり会員間の相互調整や研修等を自主的に行って

います。

なお、毎年開催している仕事別グループ交流会議は、新型コロナウイルス対策に伴い未開催となりましたが、自転車グループ、植木グループ、除草グループでは、会員の事故防止の必要からコロナ感染対策を十分にとったうえで、時間と議題を絞るなどの工夫をしながらリーダー会議を開催しました。

(2) 就業改善の推進

① 4回ルールの徹底、ワークシェアリングの推進を図りました。

② 未就業会員の意向調査

令和2年度はコロナ対策に伴い就業適正化部会が開催できなかったため、例年行っている未就業会員への意向調査は未実施となりました。

③ さわやか相談窓口と事務局相談による就業促進

毎月第2月曜日(原則)に開設している「さわやか相談窓口」は、理事が交代で会員からのさまざまな相談を受ける窓口ですが、令和2年度はコロナ対策に伴い未実施となりました。なお、事務局窓口では平日の業務時間内に就業に関する会員の相談を受けており、いずれも会員の就業支援・促進の役割を担っています。

(3) 安全就業の徹底

安全就業は就業継続の前提条件であり、当センター事業運営における最優先事項になっています。

当センターの「安全就業推進計画」に基づき、広報誌「シルバーせたがや」による意識啓発を行うとともに、安全委員会委員による安全就業強化月間(11月)のパトロールでは、転倒防止やコロナ対策などの安全に関する注意喚起のため、実態調査を実施しました。

(4) 社会奉仕活動

公益法人改革により、当センターの事業目的に社会奉仕活動の実施が追加されたことに伴い、より一層の社会貢献が期待されています。

当センターでは、例年、たまたがわ花火大会翌日の河川敷清掃や東京マラソン祭り(令和2年度は中止)の応援ボランティア、ボランティア協会等との連携による社会奉仕活動を実施しています。また、地域組織の各組では、自主的に地元町会や警察等のボランティア活動に加わるなど、さまざまな社会奉仕活動を行い、地域の区民の方々との連携が進んできていますが、令和2年度はコロナ対策に伴いそのほとんどが休止となりました。

また、継続的ボランティア事業として実施している高齢者等会食サービス「シルバーまんま」も休止となりました。

なお、平成26年5月より用賀ワークプラザ2階に開設した高齢者区民向け「あったかサロン」事業は、週2回の開催、参加費1回100円で茶菓を提供し、楽しくおしゃべりをさせていただくとともに時節に合った催し物を開催し、高齢者の孤独の解消をはかろうとするものです。しかし、本事業も休止となりました。

(5) 人材育成及び研修

当センターの仕事の評価は、仕事の完成度、会員の技能、モラルやマナーなどに大きく左右されます。公共事業に限らず、企業や家庭の就業でも、発注者はより質の高いサービスをセンター会員に求めてきています。

指定管理者事業の就業会員全員に対する接遇研修、家事援助サービスでの研修やコーディネーターの指導等のほか、会員全員を対象にした入会時研修、3年次研修に加えて、班長研修、組長研修、仕事別グループによる技能研修、都連合や第4ブロックでの共同研修など、会員の経験や役割に応じた研修で動機づけを図りながら、技能やマナーの向上に向けた人材育成に取り組んで来たところです。しかし、これら各種研修も新型コロナウイルス感染予防のためにそのほとんどが休止となりました。

令和2年度 研修実施状況

区 分	研 修 内 容 (主催・実施場所等)	期 日 ・ 参 加 人 員
入会時研修	入会説明会 (入会希望者対象)	個別説明会 オンライン説明会 入会者 延235人
技 能 研 修	就業支援講習 (植木の剪定・毛筆筆耕・家事援助・接遇等) (都連合)	年間 (8人8日)
	「指定管理者事業」 自転車等駐車場 防災訓練	12月15日(午前・午後) (2回22人)
	「 」 新規就業者研修	年 間 (11回32人)
	「 」 救命救急研修	11月17・18日 (24人2日)
会 員 研 修	家事援助サービス就業会員研修 (新入研修)	年10回 (延39人)
	支えあいサービス活動前研修 (登録会員向け)	年4回 (延25人)
	支えあいサービスフォローアップ研修 (就業中会員向け)	年2回 (延18人)
	一般会員研修 3年次研修	7月30日、11月22日 (35人2日)
	危険予知活動 (都連合)	11月16日 (2人1日)
	事故未然防止講習会 (第4ブロック)	11月17日 (4人1日)
職 員	就業適正ガイドライン、保険申請手続き、人権、個人情報保護、非行防止、公益法人会計の基礎、新任主任研修、安全就業、コミュニケーション、実務担当会議 【オンライン形式】連合交付金の基礎、労務管理の基礎、会員拡大・就業開拓会議、メンタルヘルスケア、クレーム対応、決算実務、総会運営、 他 (都連合)	年21回 (延31人)
	事故未然防止、普通救命講習 (AED 含)、連合交付金 (第4ブロック)	年3回 (延4人)

(注) 研修内容 (主催・実施場所等) の欄における () 内の表示は、(都連合) 公益財団法人東京しごと財団、(第4ブロック) 品川区、渋谷区、大田区、目黒区、世田谷区、港区シルバー人材センター共同実施。

() 表示の無い研修は、当センターが企画・実施した研修。

※令和2年度研修については、新型コロナウイルス感染防止のため未実施の研修あり。

(6) 広報・調査活動

① これまで当センターでは、事業の普及啓発や会員募集に役立てるため、各種ポスター・リーフレット類を作成し、区民まつりをはじめ区内イベント等でのPR活動を実施するとともに、協力者宅にポスターを掲示してきました。また、ホームページのリニューアルを機会に、区民や発注者向けの情報発信と事業広報に努めてきました。しかし、令和2年度は新型コロナ対策に伴い、ほぼ休止となりました。

ただし、会員向け広報誌「シルバーせたがや」については、広報・広聴部会の努力により何とか合計3回発行し、事業の進捗状況の報告や会員のページ、安全就業についてなど、必要最少限の紙面づくりに引き続き取り組み、会員の皆様とのパイプ役を務めてまいりました。

② サービス満足度調査等の実施

家事援助・育児支援サービスを継続してご利用いただいている約390件の発注者に対しては、翌年度の意向確認やアンケート調査を実施しました。その結果、作業内容では89%、会員の態度では93%の発注者からそれぞれ「良かった」という回答が寄せられました。除草グループでも同様のアンケートを実施し、作業内容では98%、会員の態度では99%の発注者から、それぞれ「良かった」という回答が寄せられています。今後もより良い評価の維持に努めてまいります。

令和2年度 広報実施状況

区 分	説 明	実施内容	
印刷物による広報	広報誌「シルバーせたがや」の発行	会員への各種情報提供と一般区民向けの情報誌として、各種調査報告やセンター事業紹介、安全就業の呼びかけ等を掲載。また、相談事業の日程、安全標語の募集等各種のチラシのはさみ込みを行い、情報提供の拡大を図った。	年3回 発行 1回 4,300部
	リーフレット等の作成・配布	リーフレットは、一般区民向け及び入会希望者向けに作成し、新たな就業開拓活動等にも活用。また、仕事別のチラシや家庭の仕事のチラシを引き続き作成し、目的別の配布を行った。さらに、「ティッシュペーパー」等数種類のPR用品を作成し、企業・家庭等の請求書に同封しPRを行った。	随時
	区広報の活用	センターへの理解と協力を広く区民にPRした。	年1回
ポスター掲示等	協力を得られた区民、役員、地域組長、及び地域班長等の自宅の塀や生垣等へもPR用ポスターを引き続き掲示した。	年間	
資料の提供	会員への情報・資料等の提供をはじめ、関係機関等への情報提供を行った。また、ホームページの内容の充実を図り、随時更新を行うことによりタイムリーな情報を広く提供した。	随時	

(7) シルバー感謝祭

「就業感謝のつどい」は平成26年度の第一回から回を重ね、令和元年度が5回目の開催となりました。元年度は「シルバー感謝祭」と装いを新たにし、社会問題となっている高齢ドライバーの運転免許証返納に関する講演のほか、シルバー会員による生きがい就業体験談や楽しい歌のコーナー、落語など、会員と区民の皆様がともに楽しめる企画を準備しました。しかし、令和2年度は新型コロナ感染予防のため休止となりました。

(8) 理事会の活性化・組織活動の充実

平成23年4月の公益法人改革により理事会や役員の権限・責任が強化され、役員の一体性・機動性が期待されています。

例年は、理事会のもとで運営委員会が具体的な案件の提案や方向性を示し、4つの部会で特定事項の調査分析・検討を行い、迅速かつ円滑な決定を行うとともに、近年の会員による傷害事故の増加に伴い、安全委員会によるさまざまな啓発活動を実施して来ました。

しかし、令和2年度は新型コロナ対策に伴い理事会のみの開催となりました。

3 会 員

令和2年度中の中入会者数は235人（男133人、女102人）、退会者数は347人（男212人、女135人）となりました。

令和2年度末の会員数は3,009人（男2,014人、女995人）となりました。

なお、令和2年度に新たに実施したオンライン説明会での入会者数は16人、予約制の個別面談による入会者数は219人となりました。

会員の平均年齢は76歳、最高齢は95歳、最も会員数の多い年代は75～79歳代が32.4%、次いで70～74歳代が29.4%、となっています。

4 仕事の提供（受託事業及び独自事業）

(1) 受託件数

総受託件数は18,906件で、前年度に比べ2,489件減少しました。

発注者別に見ると、公共事業は37件減の1,716件、民間事業は2,452件減の17,190件となりました。なお、民間事業の内訳は、企業等が346件減の5,524件、家庭が1,991件減の11,666件、その他独自事業は休止となりました。

(2) 契約金額

契約金の総額は12億1266万円で、前年度に比べ11.1%、金額1億5107万円の減となりました。発注者別では、公共事業が9.1%減の7409万円（構成比61%）、民間事業が14.1%減の4698万円（構成比39%）となりました。

(3) 配分金

配分金の総額は9億4488万円で、前年度に比べ11.2%、金額で1億1897万円の減となりました。発注者別では、公共事業が8.9%減の5億1959万円（構成比55%）、民間事業が13.9%減の4億2529万円（構成比45%）となりました。

(4) 就業人員及び就業率

令和2年度中に1回以上就業した会員（就業実人員）は2,212人、前年度に比べ316人の減となりました。また、就業率は73.5%と前年度に比べ7.5ポイントの減となり、目標値80%には達しませんでした。

今後も、さらなる就業拡大のため、会員の確保、仕事の開拓、ワークシェアリングの推進に努めていきます。

5 附属明細書

令和2年度事業報告に、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありませんでした。

6 令和2年度 会議開催状況

定 時 総 会

開催日	主 な 会 議 内 容
令和2年 6月18日	<p>会 場：宮坂区民センター大会議室 時 間：午後1時30分～ 出席者：会員総数2,984名 中23名 他に委任状提出及び議決権行使書提出1,992名 合計2,015名</p> <p>○議 事 第1号議案 令和元年度 公益社団法人 世田谷区シルバー人材センター 決 算・会計監査報告</p> <p>○報告事項 (1) 令和元年度 事業報告 (2) 令和2年度 事業計画 (3) 令和2年度 予 算</p> <p>○ 議長に永田信行会員が選任され、議事を進めた。 ○ 報告事項(1)及び議案1について宮内常務理事より資料による説明がなされたあと、市野監事より監査報告があった。 満場一致で承認された。 ○ 報告事項(2)、(3)について宮内常務理事より報告された。</p>

理 事 会

回	開催日	議 題 等
第1回	4月28日	(審議事項) 1 令和元年度事業報告(案)について 2 令和元年度決算(案)について 監査報告について 3 令和元年度会員表彰者の決定について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 事務局報告
第2回	5月29日	(報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 事務局報告
第3回	6月30日	(審議事項) 1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について

回	開催日	議 題 等
		2 事業実施状況報告 3 事務局報告
第4回	7月29日	(審議事項) 1 入会について 2 8月入会申込者のみなし決議の実施について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 事務局報告
臨時	8月27日 みなし決議	(審議事項) 1 入会承認について
第5回	9月29日	(審議事項) 1 入会について 2 事務費規程の改正について 3 在宅勤務規程の制定について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 事務局報告
第6回	10月26日	(審議事項) 1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 代表理事・執行理事の職務執行状況報告 4 事務局報告
第7回	11月30日	(審議事項) 1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 事務局報告
第8回	12月25日	(審議事項) 1 入会について 2 職員給与等の改正について (報告事項)

回	開催日	議 題 等
		1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 事務局報告
第9回	令和3年 1月27日	(審議事項) 1 入会について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 事務局報告
第10回	2月25日	(審議事項) 1 入会について 2 職員就業規則の改正について 3 準職員就業規則の改正について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 事務局報告
第11回	3月30日	(審議事項) 1 入会について 2 令和3年度事業計画(案)について 3 令和3年度予算(案)について 4 令和3年度定時総会開催日の決定について (報告事項) 1 会員の退会について 2 事業実施状況報告 3 代表理事・執行理事の職務執行状況報告 4 事務局報告

※各委員会・部会については、新型コロナウイルス感染防止のため未開催。